

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2292300247
法人名	医療法人社団 弘仁会 中根クリニック
事業所名	グループホームもの花
所在地	富士市三ツ沢427-1
自己評価作成日	2023.3.1
	評価結果市町村受理日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「地域の方に信頼される医療と介護の提供」という運営理念のもと、地域の皆様が認知症介護サービスを安心して利用いただける拠点としてお役に立てるように取り組んでいます。一人ひとりに、しっかりと向き合い、共同生活介護に沿って日常生活を共に、ADL・QOLを維持できるケアを提供出来るよう全体で考えようとしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--	--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	<input type="radio"/>		

(様式2)

目標達成計画

事業所名 グループホーム ももの花
作成日 2024年 3月 31日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	40	食事を楽しむことへの支援 一人ひとりの好みを把握し食事に反映出来ていない。 ご利用者様と共に食事準備・片付けが出来ていない。	職員に GH を理解してもらう。 共に生活し、作業する大切さを根底から理解してもらう。	職員へ GH の在り方を一から研修会を開催。 手作りメニューの導入。買い物・作業など一緒に取り組むような指導を行う。	12か月
2	45	入浴を楽しむ支援 職員都合での入浴回数・時間指定を撤廃する。それに向けて職員の意識改革が必須。	入浴方法・回数 時間設定に疑問を持ち、入浴の在り方を考え直す。	今の入浴方法が正しくないことを説明し納得してもらう。 今後、どのように入浴をすれば良いのかチームで話し合い、現在の流れを撤廃し根本から見直す。	12か月
3	49	日常的な外出支援 地域との関りを維持する。 一人ひとりの希望に沿って、外出企画をする。	コロナも5類に移行いた為可能な限り外出計画し、外部との交流を維持する。	地域の行事をしっかりと把握し、連携し参加計画する。 外出の企画がマンネリ化している。もっと楽しめる企画にする。	12か月
4					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること

(様式4)

サービス評価の実施と活用状況

事業所の外部評価の実施と活用状況について振り返ります。

「目標達成プラン」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活用状況についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	① 運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③ 利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした。
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議でサービス評価を説明するとともに、どのように評価機関を選択したかについて報告した
			⑤ その他 ()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	① 自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	② 前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③ 自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④ 評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意思統一を図った
			⑤ その他 ()
3	外部評価（訪問調査当日）	<input type="radio"/>	① 普段の現場を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	② 評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③ 対話から、事業所が努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④ その他 ()
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	<input type="radio"/>	① 運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	② 利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③ 市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④ 運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤ その他 ()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	① 職員全員で次のステップに向けて話し合い、「目標達成プラン」を作成した
		<input type="radio"/>	② 「目標達成プラン」を利用者、利用者家族や運営推進会議へ説明し、協力やモニター依頼した（する）
		<input type="radio"/>	③ 「目標達成プラン」を市町へ説明し提出した（する）
		<input type="radio"/>	④ 「目標達成プラン」に則り、目標を目指して取り組んだ（取り組む）
			⑤ その他 ()

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

外部		自己評価		外部評価	
項目	実践状況	実践状況	実践状況	実践状況	実践状況
I.理念に基づく運営					
1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念である、地域の人に信頼される医療と介護の提供を基本として、スタッフ全員で理念を共有し、サービス提供に繋がっている。	毎日、朝礼時に理念唱和し共有出来ている。	継続して理念を理解し、ケアに活かしてほしい。	
2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らされ続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍による感染予防の為、以前ほど積極的に活動できなかつたが、地区のお祭りへ顔を出するなど少しずつ交流の場を設けることが出来た。	一度でも地区との交流が持てて良かったと思う。	感染症の状況も加味して、今後も関りを継続し、色々なイベントに参加して頂ければと思う。	
3	○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	コロナの感染状況も考慮しながら、民児協に出席させて頂いたり、地区の研修等へも参加し昨年に比べ、地域との関りを持つ事が出来た。			
4	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今年度は1回の開催がコロナ感染拡大により当面開催になってしまいました。ご家族様も忙しい中出席して下さり貴重な意見を頂きました。なるべく多くの意見を頂戴したく、事前に資料配布し意見を頂く試みも出来ました。	年4回実施し、意見をしっかりと反映する努力は見られた。	出席者が増え、事前のアンケートで意見を貰う試みがうまく機能し、より皆様の意見を運営に反映出来ればと思う。	
5	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に参加いただき、活動状況や課題についてお伝えしたりし協力関係が築けていた。	運営推進会議での意見交換。 日常から連携が取れていると思う。	継続しより良い関係を築き、運営に活かして頂ければと思う。	
6	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会で年4回定期的に委員会でご話し合った。利用者様個々の尊厳を守るよう取り組んでいる。	年4回の身体拘束廃止委員会で職員同士で話し合い、問題点に関して改善に繋がっていると感じた。	継続して取り組んで頂きたい。	
7	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	定期的に委員会で話し合い、虐待になる前の不適切な接遇を早期に発見し、防止するよう努めている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	実践状況	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会・研修を開催出来ていない。職員の入れ替えも多く、周知出来ていない事が多い。			
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に利用についての説明を行うと共に、不安や疑問が無いが確認している。			
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で皆様からいただいた意見を反映し、運営に活かしている。	運営推進会議を活用し、意見の反映に努めている。		色々な工夫をし、ご利用者様・ご家族様の意見を共有・反映して頂きたい。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	本年度は職員の入れ替えが非常に多く、全体会議も定期的に開催する事すら出来ず、職員の意見を聞く機会が設けることが出来なかった。改善が必要である。	会議やアンケート・面談などの機会が少なく感じた。		人員の定着も難しい職種ではあるがなるべく職員の意見を定期的に交換し反映出来ればと思う。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の評価は定期的に実施し、管理者から代表者に報告、給与に反映されている。			
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修はあまり受けられていない。法人内の研修は定期的に実施しているが知識・技術の向上につながるレベルの研修ではなかった。改善が必要。			
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワーキングや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会議で交流する機会がある。 感染症の問題から施設同士の交換研修は候補に上がるも実現できていない。			

自己 外部	項目	外部評価	
		自己評価 実践状況	実践状況 次のステップに向けて期待したい内容
15	II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりを努めている	ご本人様とも毎日向き合い、困っている事や要望に耳を傾け、その都度対応できるようにしている。安心して生活できるような関係性を築けている。	
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりを努めている	ご家族の不安を解消し、求めるサービスを提供できるよう、説明し相談を受けている。お便りにて毎月日々の様子をお伝えし、CMを中心にご家族様と連携をとっている。	
17	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談を受けの中で、他のサービス利用が適切な場合は、説明し案内している。CMを中心にしっかり対応出来ている。日々の変化に敏感になりカンファレンス活用している。	
18	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員も共同生活を行う環境において、暮らしを共にする関係性の意識が低く、グループホームを基本的に理解する事から指導が必要。	
19	○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	コロナ禍ではあるも、皆様定期的に面会に来て下さっている。情報の共有し、一緒に支えていける関係を築けている。	
20	(8) ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	感染症予防の為、機会は少ないが、可能な限りこれまでの生活が維持できるよう努めている。	継続して馴染みの関係を保てるよう支援して頂ければと思う。
21	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者ひとり一人の関係を把握し、関わりあえるように努めている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用終了後であっても関係性を継続し、相談等があれば対応している。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員同士の情報の共有の大事さを再認識し、ご本人様の要望や困っている事を早期に見・改善出来るように心がけている。日々の生活の中で向き合う時間を大事にしている。	ご利用者様のニーズをしっかりと向き合う事で早期に見・改善に繋げる努力をしていると思う。		継続して一人一人にしっかりと向き合い意向の把握に努めて欲しいと思います。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりのバックグラウンドやアセスメントはCMを中心到的確な情報を職員に周知出来ている。それに準じてケアに繋げることが出来る。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態の変化には特に神経を遣うよう指示している。残存機能はしっかりと生かし、ADLの維持に努めるケアを心掛けている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	家族会のような、直接的交流は避けているが、CMを中心にご家族様との連絡を密にとり、よりよく生活出来るようカンファレンス等を活用し反映している。	ご本人・家族の意見や課題をしっかりとモニタリングをし介護計画に反映している。		継続してご本人様・ご家族様の意向を汲み取り介護計画に活かしてほしい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の変化に敏感に気づけるように職員に周知している。情報の共有も徹底し問題点は早期に解決出来るよう考えている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の変化に合わせたニーズに対応し、柔軟な支援が出来るように努めている。今年度は畑仕事や習慣のご利用者様に畑を作るなど考えて提供できている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナの影響で条件は限られているが、出来る限り地域資源を活かし、生活の質を維持できるように考えている。			
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様とご家族様の意向を確認し、必要な医療が受けられるような関係作りをしている。		かかりつけ医との関係などご本人・ご家族の意向に添った医療を提供できている。	今後も継続して提供できる体制を整えて欲しい。
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職との情報共有がスムーズに行えるようにし、随時必要な看護が受けられるようになっている。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	CMを中心に病院関係者とのやり取りを行い、早期退院とその後の対応を確認出来るよう努めている。定期的に病院にも訪問し情報共有の場を設けている。			
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居の段階で以降の確認を行っている。また状態の変化に合わせ、ご家族様・医師も含め再確認し方針を決めている。		看取りの説明・同意も入居時に確認出来ている。	今後もきっちり説明・同意を得て、看取りについて職員間で勉強しチームケアで取り組んでほしい。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全ての職員が急変時や事故の報告、相談の手順を把握するよう努めている。定期的な訓練や対応研修が出来ていなく、実践力に欠けている。			
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協働体制を築いている	施設としての災害対策や訓練は実施している。備蓄管理も見直している。地域との連携は、まだ改善の余地が大きく今後の課題。		災害対策や訓練はしっかり実施出来ている。	BCPの整備を進め、備蓄管理・災害時の対応・地域との連携について整備。

自己評価	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	実践状況
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36		○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の尊厳を守った接遇を行うよう注意している。不適切な対応と感じた場合は、早期に話し合っている。接遇に関して向上が必須である。	利用者の尊厳を守った接遇を行うよう、施設・職員間で意識は出来ている。	次のステップに向けて期待したい内容	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自己決定できる場面を出来るだけ多く持つよう指導している。指導不足もあり、ケアする側主導になってしまいう事も見受けられる。	尊厳を守った接遇を行っている。継続して接遇に関して、施設全体で取り組んでいく。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人の生活のペースやリズムを大事にするよう理解を促しているも、職員都合・業務都合は正直まだある。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみ・おしゃれの支援ももう少し職員が理解することが必要。			
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しめるよう、メニューや食形態を検討している。共同生活介護(GH)らしさの特性をもっと生かし、一緒にやる。という事が忘れられてきている。職員主導になってしまっている。	季節に合わせた食事・行事食など提供できている。GHなので利用者様と一緒にという気持ちをお忘れしないで欲しい。	継続して、食事は考え提供する。調理方法に関してはお利用者様と共に行動していただくことを実施していく。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に合わせた支援をしている	日々の食事摂取量、水分摂取量をチェックし、不足していないか確認している。変化があれば医師に相談して指示を仰いでいる。状態に合わせて食形態を変更したりしADLを維持できるようにしている。			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、全員の口腔ケアを個々の状態に合わせて行っている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄パターン・自立した排泄やパット・オムツなども自立・維持に向けて支援・変更できるようなチーム作りをしている。	チームとして個々に合わせた排泄方法などを考え対応出来ている。	継続して個々に合わせた排泄・自立支援を心掛けてケアさせて頂く。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因・影響について考えて対応している。飲食物の工夫・時には内服薬の調整などで改善に向けてケア出来ている。			
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日指定や時間が固定されている。ご本人様の気持ちを臨機応変に対応出来ていない点はある。現在は週2回の入浴で実施されている。	曜日・時間などは希望も色々聞いてもらい毎回安全に綺麗にしてもらえて助かっている。	ご本人様の気持ち・ご家族様のニーズに合わせて臨機応変に対応していく。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休憩したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間は勿論、昼寝や食後の休憩など、個々のペースで休めるようにしている。温度調節など配慮し、安眠できるような工夫している。			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様の内服薬の把握・作用等を把握し、適切に服薬できるようにしている。職員は意識の低さから、把握できている職員は少ないのが現状である。			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	季節に合わせて作品作り・展示や誕生日会・企画等楽しく生活できるように心掛けている。生活歴も把握するようにし、趣味・嗜好品をケアに組み込めるようにしている。			
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	まだ感染症の影響もあり、外出企画はドライブや花見程度であった。月1回の企画は開催出来た。今後もう少し外部との交流や外出の機会を増やせればと思う。	感染症の影響もある為、外出の機会は少なかった。	感染症の状況も加味して、今後は外出企画などの機会を増やしていく。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	普段からお金を保持しているご利用者様は少ないも、買い物企画等を立案し、ご家族の理解を得られればその際に使える機会を設けることも考えていく。			
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族と相談の上、電話が可能であれば対応するようになっている。手紙のやり取りも、要望があれば対応している。			
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	常に清潔には意識し、不安や混乱の招かないよう心掛けている。生活感・季節感は昨年度に比べて意識して取り組めるようになってきている。	環境整備はしっかり出来ている。臭い等も全く気にならない。	継続して環境整備に努めていく。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにて自由に席に座り、仲の良い方同士で話が出来るようになってきている。一人ひとりの過ごし方をもう少し自由に対応できるようにしていきたい。			
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様が居心地の良いよう、使い慣れた物や色紙・写真等を置き安心できるような工夫を心掛けていく。	居心地よく生活出来るよう工夫出来ている。	今後もご本人様の居心地が良い空間作り・使い慣れたものを活かすよう対応していく。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	分かること・出来る事を安全だけを考え排除してしまっている傾向がある。前年度に比べ自立支援の大切さ・難しさなどを職員に伝達し、ケアに活かすようになってきている。			

V. アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23、24、25)	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんど掴んでいない	○
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18、38)	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない	○
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	○
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36、37)	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	○
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	○

61	<p>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30、31)</p>	<p>○</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
62	<p>利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)</p>	<p>○</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
63	<p>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9、10、19)</p>	<p>○</p> <p>①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない</p>
64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：9、10、19)</p>	<p>○</p> <p>①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)</p>	<p>○</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない</p>

66	職員は、活き活きと働けている (参考項目11、12)	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見ても、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見ても、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない